

よえだ のぶやす
前田 亘保さん

就農年月：平成 23 年 3 月（就農時 42 歳）
就農場所：丹生郡越前町江波
出身地：丹生郡越前町（専業農家出身）

中山間地の条件をいかして 消費者に喜ばれるおいしいお米づくりを追究

- ・ 合同会社 前田農友を設立して、専業の米農家である親の経営を継承（平成 23 年）
- ・ 中山間地だが、山水を利用した品質の良いおいしいお米づくりを追求

経営内容

品 目：水稻(12ha)、そば(1ha)
販売先：JA 出荷、直販
労働力：本人、妻、両親、臨時雇用



農業を始めたきっかけは？（就農の動機）

自分の努力が所得として評価される農業に魅力を感じており、いつかは両親の経営を引き継ぎたいと考えていました。

中山間地の条件不利地で受託面積が拡大する中で、近代的な経営を目指して法人を設立し、両親の経営を引き継ぎました。



農業で経営を成り立たせることは大変な面もありますが、食べ物を作るというやりがいのある仕事で、チャレンジする価値のある職業です。始める前には、地元の役場や JA、県農林総合事務所などに相談して十分検討することが大事だと思います。



2 農地の確保や施設などの整備

両親の受託農地を基盤に経営を始めましたが、地域で作業をするうちに徐々に農地が集まってきています。また、認定農業者として経営改善計画が認定され、町や JA から耕作者のない農地情報等も得られるようになりました。

3 家族の理解など

両親は経営を継いだことを、喜んでいますが、まだまだ作業の仕方や経営方法など心配なこともあるようで、引退せずに手伝ってくれています。

就農までの道のり・苦労した点

1 栽培技術の習得

両親や近隣の中核農家から栽培管理や農業機械の扱い方について細かいことまで教えてもらいました。また県の農林総合事務所や農林水産支援センター、地元 JA などの研修会に参加し日々技術の習得に励んでいます。

